

令和6年産米 情報



◆青森県(6月10日現在)

- ・「青天の霹靂」は草丈が36.3cmで2.1cm長く、株当たりの茎数は4.0本で3.5本少なく、葉齢は5.6葉で平年並み。
- ・「はれわたり」は草丈が33.1cmで1.3cm短く、株当たりの茎数は6.6本で1.4本少なく、葉齢は5.6葉で平年並み。
- ・「まっしぐら」は草丈が37.3cmで1.6cm長く、株当たりの茎数は4.9本で2.9本少なく、葉齢は5.7葉で平年並み。

◆山形県(6月10日現在)

- ・平坦部「はえぬき」で、草丈は平年並み、茎数は平年より少なく、葉数は平年並み、葉色はやや淡くなっている。順調に分げつが進んでいる圃場が見られる一方で、生育がほとんど進んでいないような圃場も見られる。

・「つや姫」「雪若丸」も、圃場による生育のバラつきが大きくなっている。特に、移植が遅かった圃場や深水管理が続いた圃場では、茎数がほとんど増えていない。

・作柄診断圃の生育調査では、5月下旬以降の低温少照の影響で、平年に比べ草丈は平年並、茎数は「はえぬき」でやや少なく、「雪若丸」でやや多く、葉数は「はえぬき」「つや姫」で平年並、「雪若丸」でやや多く、葉色は「雪若丸」でやや濃くなっている。鶴岡田川地域では例年に比べ圃場間での生育差が大きく、移植時期の遅い圃場・老化苗を移植した圃場・移植後深水管理となった圃場では、茎数が不足している状況。

(東南置賜)(6月10日現在)

- ・「はえぬき」草丈:長い、茎数:やや少ない、葉数:平年並、葉色:平年並
- ・「つや姫」草丈:やや長い、茎数:多い、葉数:平年並、葉色:やや淡い
- ・「雪若丸」草丈:長い、茎数:多い、葉数:やや多い、葉色:濃い

◆富山県(6月11日現在)

- ・「てんたかく」平年に比べ、草丈は短く、茎数はやや少なく、葉色、葉齢は並となっている。
- ・「コシヒカリ」平年に比べ、草丈は短く、茎数はかなり少なく、葉色は並、葉齢は0.4葉遅れている。葉齢を揃えて比較すると、平年に比べ、草丈はやや短く、茎数は少なく、葉色は並となっている。
- ・「てんこもり」平年に比べ、草丈、葉色は並、茎数は少なく、葉齢は0.2葉遅れている。葉齢を揃えて比較すると、平年に比べ、草丈、葉色は並、茎数は少なくなっている。
- ・「富富富」近年に比べ、草丈はやや短く、茎数はかなり少なく、葉色は並、葉齢は0.6葉遅れている。葉齢を揃えて比較すると、草丈、茎数、葉色は近年並となっている

今週の玄米入荷情報

□令和5年産

新潟コシヒカリ黒川

岩手ひとめ前沢特裁

岩手ひとめ天日特裁

岩手ひとめぼれ

福井コシヒカリ

秋田あきたこまちやまもと

茨城コシヒカリ

山形つや姫

※米粉(小袋1kg×10)の価格改定
8月1日より卸価格が10%の値上げ
原料のお米が上がっているからです。

刈り取りの適期



1等米の生産に向けて刈り取りの適期は、籾全体の85~90%程度が黄化した頃で、積算温度では、早生では950~1000℃、中生では1000~1050℃、晩生では1050~1100℃。しかし、近年のような高温条件下では、籾の黄化が促進されるとともに、籾の見た目以上に玄米の青みの抜けが早いので、籾黄化率80%で刈り取りを開始することが必要です。青米や全胴割粒の混入を少なくする意味でも重要なことです。